



投信指数

MAB 300 月次レポート

三菱アセット・ブレインズ株式会社

第8号 2017年2月

先進国株式ファンドの上昇基調は一旦足踏み

トランプ大統領による就任直後からの規制緩和やインフラ投資などの大統領令が好感されて米国株式は上昇しましたが、入国審査など排他的な側面への懸念も強まり足踏みとなりました。貿易黒字国への批判的な声明によるドル安から、日本、欧州の株式も伸び悩みました。

これらを受け、わが国の投信市場では、先進国の株式ファンドは小幅な上昇にとどまりました。一方で、米国の保護主義的な政策や金利上昇への懸念から下落していた新興国株式ファンドは、売られすぎの反動やブラジルの利下げを好感して反発しました。また、REITファンドは金利上昇への懸念から下落に転じています。

資金流出面では、当月も国内株式ファンドやREITファンドを中心に利益確定売りが続き、MAB 300構成銘柄合計で2千億円近い資金流出となりました。

トピックス

決算回数から投信市場の変化を探る P.7

1月のMAB 300

月次サマリー	P.2
寄与度 ベスト10 ワースト10	P.3
売れ筋 ベスト10	P.4
パフォーマンス ベスト10	P.4
純資産額増減 ベスト5 ワースト5	P.5
新顔ファンド	P.5

新顔ファンド紹介

初めてMAB 300に入った新顔ファンドの中から注目ファンドを紹介します。	P.6
グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし) 愛称: 未来の世界	

トピックス

決算回数から投信市場の変化を探る	P.7
------------------	-----

MAB 300は我が国を代表する公募追加型株式投資信託(純資産額上位300銘柄)を選定し、分配金再投資基準価額を単純平均した指数です。



MAB 300

基準日：2017年1月31日

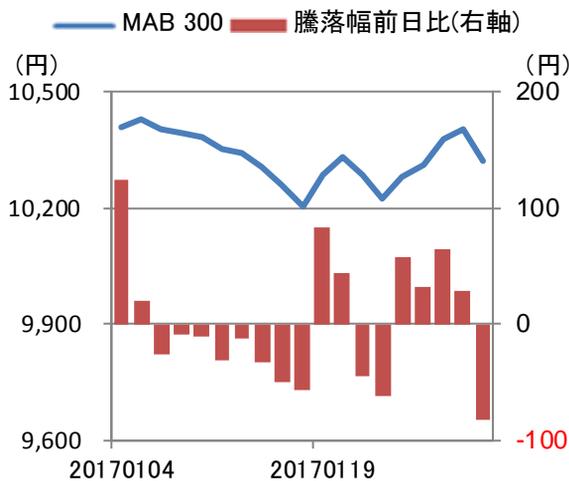
1月のMAB 300 月次サマリー

1. 指数

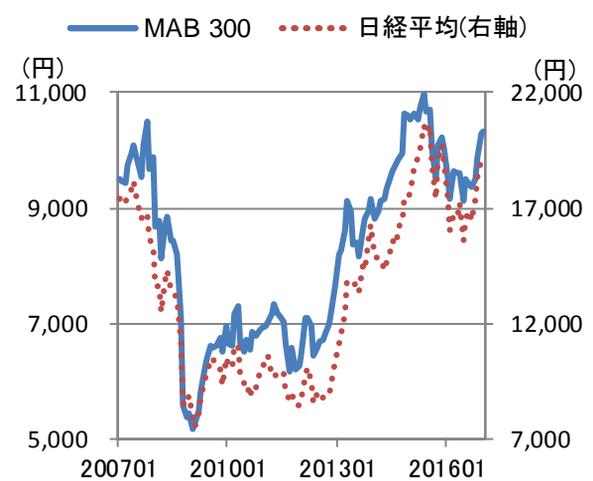
今月末	前月末	前月比	月間騰落率	
10,320円	10,285円	+35円	+0.34%	
年初来高値	年初来安値	純資産総額	前月比	月間ネット資金流出入額
10,429円 (2017/01/05)	10,202円 (2017/01/18)	394,504億円	-5,259億円	-1,774億円

2. 推移

○2017年1月



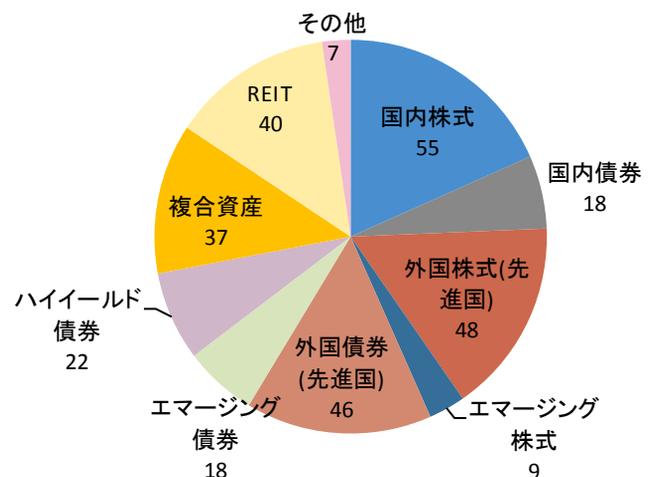
○直近10年



3. カテゴリー別 寄与度ランキング

カテゴリー	寄与度(円)
国内株式	18.0
エマージング債券	11.8
エマージング株式	10.9
ハイイールド債券	10.2
外国債券(先進国)	4.9
外国株式(先進国)	3.8
その他	-1.1
国内債券	-2.4
複合資産	-6.3
REIT	-14.8
合計	35.0

4. カテゴリー別 構成ファンド本数



※月末リバランス後



1月のMAB 300

寄与度 ベスト10 ワースト10

基準日：2017年1月31日

5. 寄与度 ベスト10 ワースト10

上位

順位	ファンド名	運用会社名	騰落率 (%)※	寄与度 (円)
1	野村インド株投資	野村アセットマネジメント	+6.43	+3.48
2	野村日本ブランド株投資(ブラジルリアルコース) 毎月分配型	野村アセットマネジメント	+5.96	+2.97
3	野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアル コース)毎月分配型	野村アセットマネジメント	+4.42	+2.52
4	東京海上J-REIT投信(通貨選択型)ブラジルレ アルコース(毎月分配型)	東京海上アセットマネジメント	+5.03	+2.34
5	イーストスプリング・インド株式オープン	イーストスプリング・インベスト メンツ	+4.38	+2.29
6	野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース) 毎月分配型	野村アセットマネジメント	+3.78	+2.26
7	東京海上J-REIT投信(通貨選択型)豪ドルコー ス(毎月分配型)	東京海上アセットマネジメント	+4.53	+2.25
8	JPMザ・ジャパン	JPモルガン・アセット・マネジ メント	+2.27	+2.13
9	HSBCインドオープン	HSBC投信	+4.96	+2.05
10	日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	大和住銀投信投資顧問	+5.20	+2.04

下位

順位	ファンド名	運用会社名	騰落率 (%)※	寄与度 (円)
1	アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド(トルコ リラコース)	アムンディ・ジャパン	-7.72	-2.42
2	日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分 配型(トルコリラコース)	日興アセットマネジメント	-7.22	-1.97
3	トヨタグループ株式ファンド	三井住友アセットマネジメント	-2.99	-1.65
4	フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	フィデリティ投信	-2.58	-1.56
5	日興・AMPグローバルREITファンド毎月分配型A (ヘッジなし)	日興アセットマネジメント	-3.06	-1.44
6	ノムラ日米REITファンド(毎月分配型)	野村アセットマネジメント	-1.84	-1.17
7	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	三菱UFJ国際投信	-2.51	-1.09
8	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント	-2.77	-1.08
9	ダイワ米国リート・ファンド(毎月分配型)為替ヘッ ジなし	大和証券投資信託委託	-1.94	-1.01
10	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(健次)	三菱UFJ国際投信	-1.63	-0.99

※分配金再投資基準価額の騰落率を表しています。



1月のMAB 300

売れ筋 & パフォーマンス ベスト10

MAB 300

基準日：2017年1月31日

6. 売れ筋 ベスト10

順位	ファンド名	運用会社名	カテゴリー	月間ネット流入額 (百万円)※
1	LM・オーストラリア高配当株ファンド (毎月分配型)	レグ・メイソン・アセット・マ ネジメント	外国株式(先進国)	+53,955
2	東京海上・円資産バランスファンド(毎 月決算型)(円奏会)	東京海上アセットマネジメント	複合資産	+15,513
3	グローバルAIファンド	三井住友アセットマネジメント	外国株式(先進国)	+14,473
4	通貨選択型Jリート・ファンド(毎月分配 型)ブラジルリアルコース	アセットマネジメントOne	REIT	+14,270
5	みずほUSハイイールドオープンBコー ス(為替ヘッジなし)	アセットマネジメントOne	ハイイールド債券	+12,506
6	ファンド・マネジャー(国内債券)	三菱UFJ国際投信	国内債券	+12,000
7	ニッセイグローバル好配当株式プラス (毎月決算型)	ニッセイアセットマネジメント	外国株式(先進国)	+11,631
8	ダイワJ-REITオープン(毎月分配 型)	大和証券投資信託委託	REIT	+11,586
9	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	フィデリティ投信	ハイイールド債券	+11,508
10	野村インド株投資	野村アセットマネジメント	エマージング株式	+11,258

※月間ネット流入額は三菱アセット・ブレインズの推計値です。

7. パフォーマンス ベスト10

順位	ファンド名	運用会社名	カテゴリー	月間騰落率 (%)
1	HSBCブラジルオープン	HSBC投信	エマージング株式	+8.34
2	野村インド株投資	野村アセットマネジメント	エマージング株式	+6.43
3	野村日本ブランド株投資(ブラジルレ アルコース)毎月分配型	野村アセットマネジメント	国内株式	+5.96
4	日本株厳選ファンド・ブラジルリアル コース	大和住銀投信投資顧問	国内株式	+5.20
5	東京海上J-REIT投信(通貨選択型) ブラジルリアルコース(毎月分配型)	東京海上アセットマネジメント	REIT	+5.03
6	HSBCインドオープン	HSBC投信	エマージング株式	+4.96
7	日本株アルファ・カルテット(毎月分配 型)	大和住銀投信投資顧問	国内株式	+4.84
8	三菱UFJ新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル コース>(毎月分配型)(グローイング・ スター)	三菱UFJ国際投信	ハイイールド債券	+4.72
9	東京海上J-REIT投信(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月分配型)	東京海上アセットマネジメント	REIT	+4.53
10	野村米国ハイ・イールド債券投信(プ ラジルリアルコース)毎月分配型	野村アセットマネジメント	ハイイールド債券	+4.42
-	MAB 300	-	-	+0.34



1月のMAB 300

純資産額増減 ベスト5 ワースト5 & 新顔

基準日：2017年1月31日

8. 純資産額増減 ベスト5 ワースト5

■増加

順位	ファンド名	運用会社	カテゴリー	純資産額 (百万円)	前月比 (百万円)
1	LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	レッグ・メイソン・アセット・マネジメント	外国株式 (先進国)	355,415	+46,511
2	野村インド株投資	野村アセットマネジメント	エマージング株式	219,746	+24,073
3	グローバルAIファンド	三井住友アセットマネジメント	外国株式 (先進国)	249,103	+21,090
4	通貨選択型Jリート・ファンド(毎月分配型)ブラジルリアルコース	アセットマネジメントOne	REIT	90,869	+13,943
5	野村米国ハイ・イールド債券投資(ブラジルリアルコース)毎月分配型	野村アセットマネジメント	ハイイールド債券	176,051	+13,636

■減少

順位	ファンド名	運用会社	カテゴリー	純資産額 (百万円)	前月比 (百万円)
1	新光US-REITオープン(ゼウス)	アセットマネジメントOne	REIT	1,426,608	-117,990
2	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント	REIT	1,141,439	-89,779
3	フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	フィデリティ投信	REIT	1,473,957	-81,093
4	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	三菱UFJ国際投信	外国債券 (先進国)	633,176	-27,373
5	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	三菱UFJ国際投信	REIT	575,574	-25,519

9. 新顔ファンド

ファンド名	運用会社	カテゴリー	純資産額 (百万円)
グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)(未来の世界)	アセットマネジメントOne	外国株式(先進国)	47,895
いちよし中小型成長株ファンド(あすなろ)	いちよしアセットマネジメント	国内株式	42,837
投資のソムリエ	アセットマネジメントOne	複合資産	40,201
イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)	イーストスプリング・インベストメンツ	エマージング債券	40,077
セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信	外国株式(先進国)	38,871
アムンディ・ダブルウォッチ	アムンディ・ジャパン	複合資産	38,823

新顔ファンド紹介 ～初めてMAB 300に入りました～

グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド

(為替ヘッジなし) 愛称：未来の世界



MAB 300

基準日：2017年1月31日

- ▶ 世界の株式のなかから”ハイクオリティ成長株”を探し出す”イノベーション調査”を活用。
- ▶ 投資アイデアに基づいた厳選投資により、高いリターンを目指すファンド。
- ▶ 2016年9月末の設定後、純資産残高は順調に増加。4カ月で同残高は479億円へ。

運用会社	アセットマネジメントOne		
主な販社	みずほ証券		
カテゴリー	外国株式(先進国)		
為替ヘッジ	なし	アクティブ/パッシブ	アクティブ
純資産額	47,895 百万円	実質的な運用管理費用	1.836 %
基準価額	11,190 円	分配金再投資基準価額	11,190 円
設定日	2016/09/30		

■ファンドの特徴

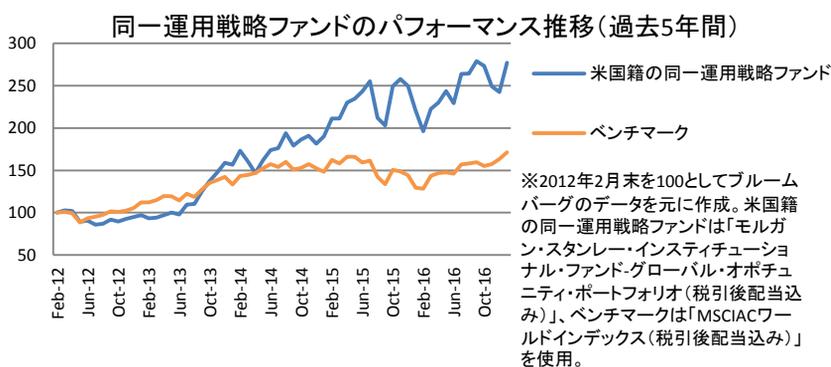
1. ハイクオリティ成長企業への投資

ハイクオリティ成長企業とは、世の中を大きく変える「イノベーション」を追い風に他社には真似できない競争優位性を持ち、高い成長が期待できる企業を指します。当ファンドでは25～50銘柄のハイクオリティ成長銘柄へ投資を行います。

《イノベーション調査》

新しい技術や考え方を取り入れ社会的に大きな変化を起こすイノベーションに関する投資テーマの発掘に特化した担当者を擁し、幅広く投資アイデアの収集、分析を行います。
(モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントが担当)

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントでは以前からイノベーション調査を活用した運用を手掛けており、同一運用戦略による米国籍ファンド「モルガン・スタンレー・インスティテューショナル・ファンド・グローバル・オポチュニティ・ポートフォリオ」は良好なパフォーマンスで注目を集めています。



上位組入銘柄(2016年12月30日基準)

No.	銘柄	国・地域	業種	比率
1	FACEBOOK INC	アメリカ	情報技術	9.6%
2	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	6.9%
3	EPAM SYSTEMS INC	アメリカ	情報技術	6.1%
4	TAL EDUCATION GROUP-ADR	中国	一般消費財・サービス	5.8%
5	PRICELINE GROUP INC	アメリカ	一般消費財・サービス	5.8%

(出所：当ファンドの2017年1月発行月次運用レポートを引用)

2. 厳選投資により高いリターンを狙う

当ファンドの2016年12月末時点での上位組入業種比率は情報技術46.0%、一般消費財・サービス31.6%、また、投資銘柄数は27銘柄、上位組入5銘柄の組入比率は5%以上と特定業種、個別銘柄への集中度合いが高くなっています(出所：2017年1月発行月次運用レポートより)。

リスクを取ってでも、世の中を変えるような革新的な成長企業に投資をしたい人には魅力的な選択肢となり得ます。

※当ファンドの詳細については、アセットマネジメントOneのHPをご参照。

<http://www.diam.co.jp/fund/list/313567/index.html>



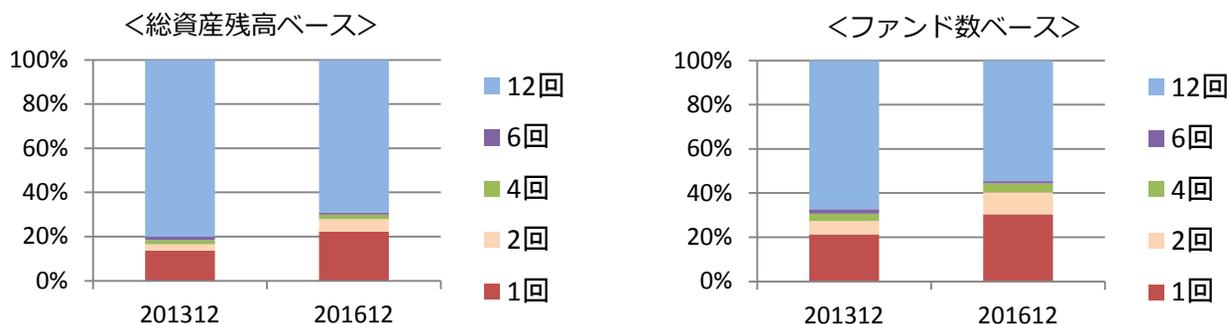
- 日本の投信マーケットにおいて課題とされてきました、毎月決算型ファンドに代表される高分配投信への偏重は、年1回決算型ファンドが増加することで、一見すると解消傾向にあるようにみえます。しかしながら、その実情をみると健全な資産形成に資する取組みは、いまだ道半ばであるといえそうです。
- 毎月決算型では外国債券からリートへと資産を変えながら高分配指向が続いており、残高の増加がみられる年1回決算型においても、ラップ型投信など特定の人気ファンドが受け皿になっています。

■年1回決算型ファンドの構成割合は徐々に増加

日本の投信市場においては、毎月分配型(12回決算)の高分配ファンドが根強い人気を博してきました。一方で、長期の資産形成の観点からすると、再投資機能を活かさず元本の取り崩しによる過度な分配が課題として挙げられています。今回は、投信の主要ファンドをユニバースとするMAB 300を用いて、決算回数を切り口に、これらの現状について確認します。

図1は、2013年12月と2016年12月における、決算回数別の純資産残高、ファンド数の構成割合を示したものです。直近3年間に於いて、毎月決算型の構成割合は10%近く低下し、年1回決算型の割合は残高で2割、ファンド数では3割にまで上昇していますが、依然として毎月決算型ファンドの構成割合が過半を占めています。

【図1】 決算回数別の構成割合とその変化



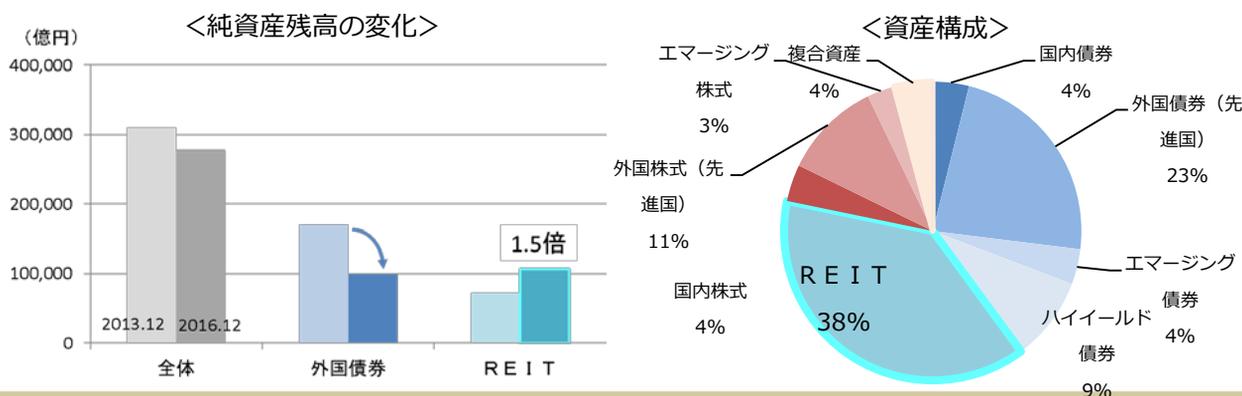
■毎月決算型を中心とした高分配売りは変わっていない

図1からは、分配に着目した販売姿勢は是正され、健全な資産形成の姿へと着実に変化しているようにみえます。

図2は、毎月決算型における2013年12月と2016年12月の純資産残高の変化(左図)と、2016年12月の資産別構成比(右図)を示したものです。純資産残高はMAB 300全体では微減となるなか、外国債券(外国債券(先進国)、ハイイールド債券、新興国債券の合計)から、REITに乗り換えた動きが見取れます。

外国債券から得られる金利水準が低下したこと、また、新興国債券などの価格が軟調に推移したことを受けて、これらの資産からREITに乗り換えたものであり、高分配投信が選好される動き自体に変化はなさそうです。

【図2】 毎月決算型の純資産残高の変化と資産構成



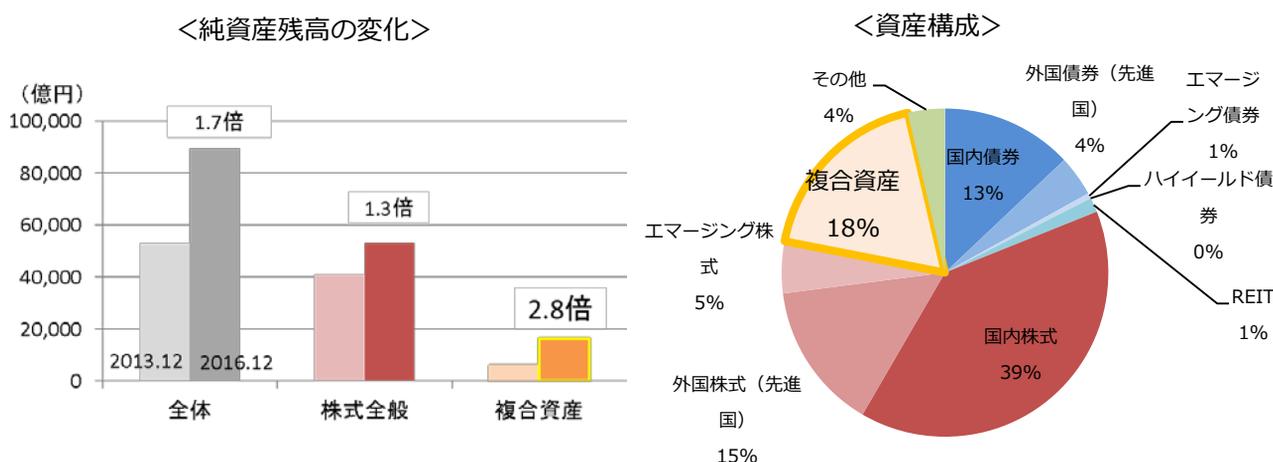


■年1回決算型では、複合資産型ファンドが伸長しているが

次に、年1回決算型の資産構成について、同様の視点で確認します。図3は、3年前と直近の純資産残高の変化(左図)と、直近の資産別構成比(右図)を示したものです。純資産残高全体では2013年12月時点からの3年間で1.7倍に増加していますが、そのなかでも、複合資産型の増加率が著しく、年1回型における同型の構成割合は11%から18%にまで増えています。

年1回決算型の複合資産型ファンドが増えることは、長期・安定的な資産形成にとっては望ましいことといえます。ただし、それは、個人のリテラシーが高まったことや、金融機関による正しい販売姿勢への変化によって生じた結果でしょうか。

【図3】年1回決算型の純資産残高の変化と資産構成



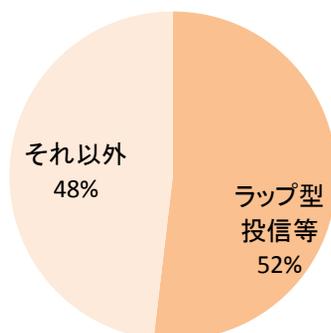
■健全な資産形成の姿には道半ば

この時期は、高分配型ファンドのスキームを良く理解していないシニア層が、毎月決算型でリスクの高い単一資産のファンドを保有していることが問題点として指摘されていました。一方で、ラップ口座の人気にあやかる形で、ラップ型投信やリスクコントロール型ファンドなどと呼ばれる、価格下落リスクに配慮した商品設計のファンドが相次いで設定され、証券会社、銀行がこぞって販売攻勢をかけました。

この結果、複合資産を中心とした年1回決算型が増加したものと思われます。

このような状況を見る限り、日本の投信市場において健全な資産形成に資する取組みは、いまだ道半ばと言えます。

【図4】MAB 300の複合資産におけるラップ型ファンド等の構成割合





- 本レポートに関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
- 本レポートは、MABが信頼できると判断した情報源から入手した本レポート作成基準日現在における情報をもとに作成しておりますが、当該情報の正確性を保証するものではありません。
- MABは、本レポートの利用に関連して発生した一切の損害について何らの責任も負いません。
- 本レポート中のグラフ・数値等は、あくまでも本レポート作成基準日までの過去の実績を示すものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本レポートは、情報提供を目的としたものであり、投資信託の勧誘のために作成されたものではありません。
- 日経平均に関する著作権、知的財産権等一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
- MSCI AC 世界株式インデックスに関する著作権等知的財産権すべては、MSCI Inc.に帰属します。
- MAB 投信指数「MAB 300」(以下、本指数)に関する著作権、知的財産権等一切の権利はMABに帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。また、本指数を商業的に利用する場合にはMABの利用許諾が必要です。

【照会先】

三菱アセット・ブレインズ株式会社

アドバイザリーユニット 青木・勝盛

電話番号：03-6721-1037

Eメール：mab-index@mab.co.jp

〒107-0062 東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館8階

URL：<http://www.mab.jp/mab-index/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1085号

加入協会名 一般社団法人 日本投資顧問業協会